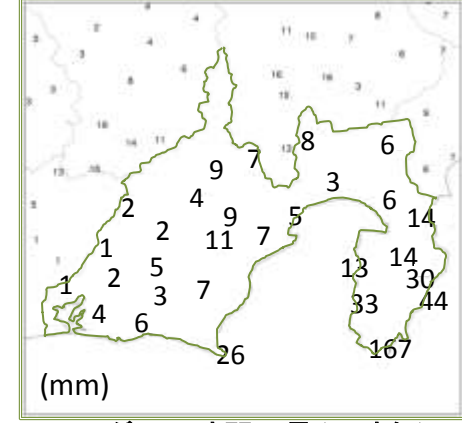
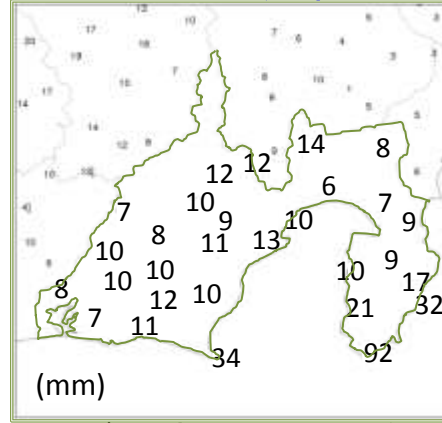


2005年 11月6日～7日 南岸低気圧

1. 気象経過

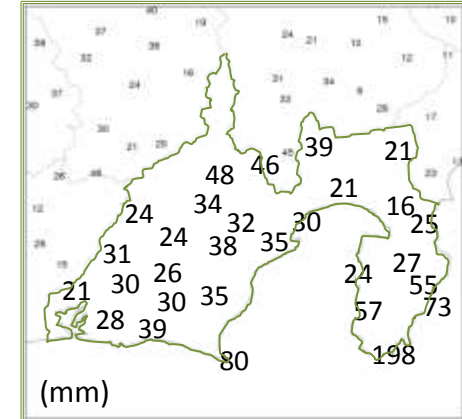
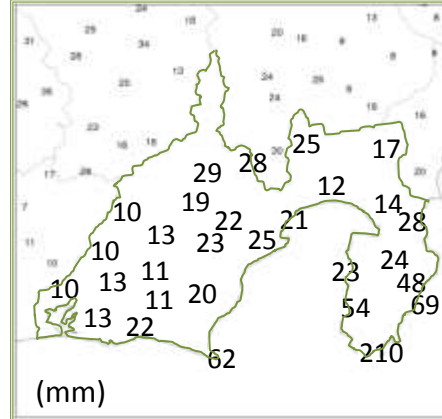
6日には日本海にある低気圧に向かって暖かく湿った強い風が吹き込み、内陸では発達した積乱雲が発生していた。一方太平洋側沿岸部を東進する低気圧周辺では、日本海に吹きこむ強い風の影響で、雨雲が発達しにくい状態が続いていた。6日21時には低気圧は熊野灘付近まで東進し、日本海を東進する低気圧は、その北に位置していた。この時浜松(防衛省)の高度1500m付近では、南の風、風速15m/s、相当温位330度を観測し、この時期としては暖かく湿った強い風が吹いていた。この暖湿流と熊野灘付近の低気圧に向かって吹きこむ北東風との間で線状分布の積乱雲が発生、発達した。低気圧の東進に伴い遠州灘付近で発生した雨雲は石廊崎付近に次々とかかった。これにより、**アメダス石廊崎では、23時27分までの1時間に観測史上2位となる93mmの猛烈な雨を観測した。**

4. アメダス雨量分布図



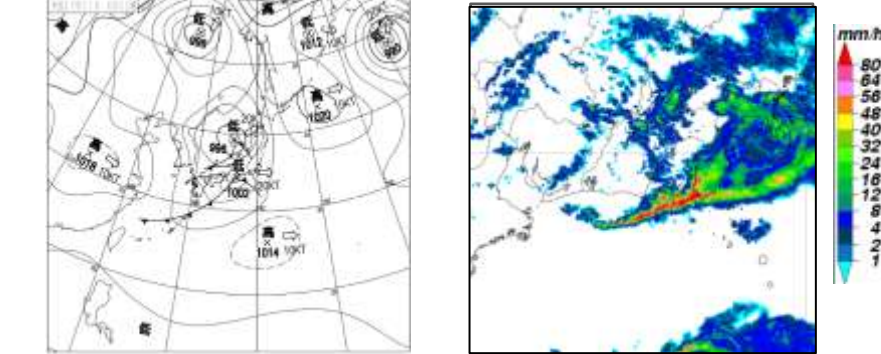
アメダス1時間雨量(正10分毎) 11月6日～7日における最大値

アメダス3時間雨量(正時毎) 11月6日22時～7日0時



アメダス6時間雨量(正時毎) 11月6日20時～7日1時

アメダス日雨量 11月6日



2005年11月6日21時地上天気図 2005年11月6日22時50分レーダー

2. 大雨の原因、特徴

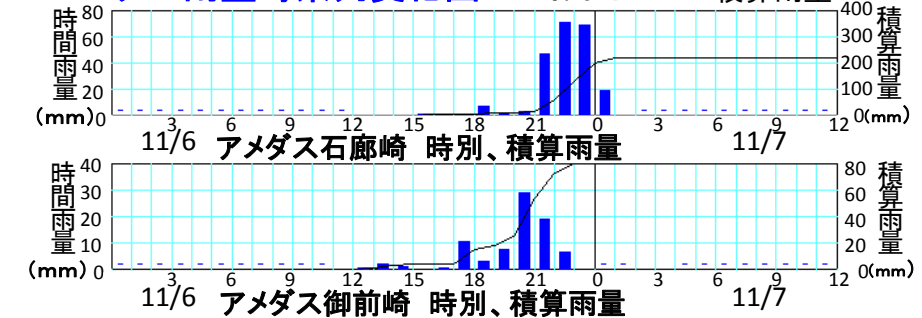
低気圧近傍の6日夜遅くには、アメダスの観測で、御前崎、石廊崎ともに東北東から北北東の風が5～10m/s、そのすぐ南にある神津島では南の風が15～20m/sとなっており、南岸に風向、風速が大きく異なるライン(シア)がのびていた。南寄りの風が強いため、このライン状で急激な上昇流が発生し、積乱雲が発達した。南岸低気圧が通過する位置により、ラインの位置も南北にずれるが、南岸沿いに線状分布の強雨域が発生するケースはしばしばある。

3. 被害概要

	床上 浸水 (棟)	床下 浸水 (棟)	全壊 (棟)	半壊 (棟)	一部 損壊 (棟)	死者 行方 不明 者 (人)	重傷 者 (人)	軽傷 者 (人)	崖崩 れ (カ 所)	道路 陥没 (カ 所)	橋上 崩落 (カ 所)	河川 氾濫 (カ 所)	砂防 崩落 (カ 所)	鉄道 不通 (カ 所)
全県	4	22	0	0	0	0	0	0	0	13	0	21	0	0
中部	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
西部	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
東部	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
伊豆	4	22	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-

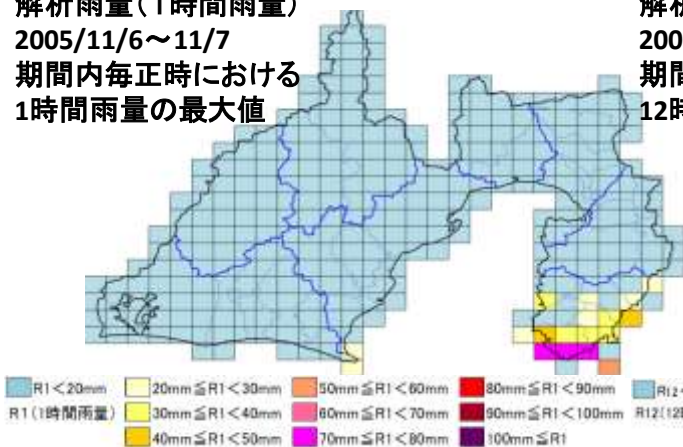
被害数は、静岡県 平成17年における災害の状況による

5. アメダス雨量時系列変化図

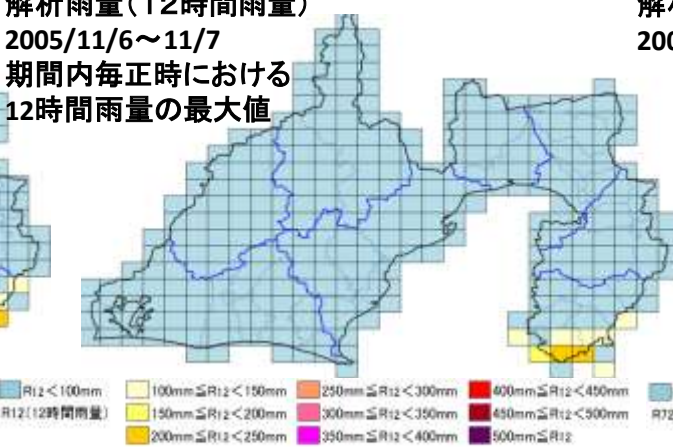


6. 解析雨量分布図

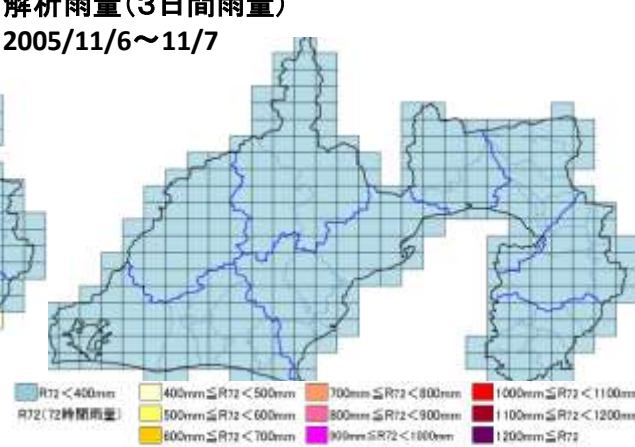
解析雨量(1時間雨量)
2005/11/6~11/7
期間内毎正時における
1時間雨量の最大値



解析雨量(12時間雨量)
2005/11/6~11/7
期間内毎正時における
12時間雨量の最大値



解析雨量(3日間雨量)
2005/11/6~11/7



解析雨量(3時間雨量)
2005/11/6~11/7
期間内毎正時における
3時間雨量の最大値



解析雨量(24時間雨量)
2005/11/6~11/7
期間内毎正時における
24時間雨量の最大値



解析雨量(6時間雨量)
2005/11/6~11/7
期間内毎正時における
6時間雨量の最大値



解析雨量(2日間雨量)
2005/11/6~11/7



7. 床上、床下浸水被害分布図 (市町毎)



解析雨量と浸水害分布図からわかる大雨の特徴

強雨域は殆ど海上にあるものの、伊豆南端にかかり続け猛烈な雨となった。南岸低気圧の通過により線状分布の強雨帯が発生することは珍しくないが、伊豆と伊豆諸島の間に発生することが多い。低気圧の勢力と進路により、線の位置も微妙に異なる。